

手をつなぐ  
**鹿島育成園だより**  
 夢を語り夢をかなえる

編集者 高橋 英一

法人本部・生活支援センター  
 〒314-0016  
 茨城県鹿嶋市国末1539-1  
 TEL 0299(82)6464  
 FAX 0299(83)3261

鹿島育成園(児童寮及び育成寮)  
 〒311-2401  
 茨城県潮来市大賀438-4  
 TEL 0299(66)3439(代)  
 FAX 0299(66)3431

<http://www.kashima-ikuseien.com/>  
 mail:kaikusei@eagle.ocn.ne.jp

定価 100円



**グループホーム  
 新型コロナ感染対策の日常風景**

### 感謝

園長 高橋 英一



12月・1月と私達にとって思わぬメッセージを頂きました。12月には、横浜で家庭を持ち生活している大川秋男さんから。また1月には、成人式を迎え、当法人のグループホームを利用しながら働いている杉田萌さんから。当時は突然会社の寮から居なくなり、仕事を辞めたり、あるいは担当職員が学校から呼び出されたり。私も職員も振り回されることがありました。20歳以上年の差が在るものの、二人とも児童寮の卒業生です。二人からそれぞれ私達に対して感謝の気持ちが籠った手紙が送られて来ました。見返りを期待した事は一度も無く、その時その時真剣に彼等と向き合い、想いを受け止め、彼等の望む生活を支えてきました。

福祉の仕事は中々結果が出ないと言われ、時には心折れそうになる事も在ります。でもこの様な得難い経験をする素晴らしい仕事だと思っております。私の方から出会ってくれて有難うと全てのご縁の有った人達に感謝したいと思います。

## 研修報告

### 令和2年度精神保健専門講座

#### (災害メンタルヘルス)受講所感

統括主任 金子 俊一

今回の講座は筑波大学高橋晶准教授による「新型コロナウイルス感染症を中心とした災害時のこころの健康について」支援者支援を含むものである。今世紀に入って人為災害に加え自然災害が毎年のように起こっている。今後南海トラフによる巨大地震は30年以内に70〜80%の確率で起こるといふ。COVID-19感染が収まらない中ででの大地震(2月13日の福島・宮城地震の上を行く)も起こり得る。COVID-19の特徴として(感染していたのか分からないうつしてしまったのか分からない)という事がある。その為医療従事者を主とした支援者への差別・誹謗中傷が起こった。これは「行動免疫」といわれる仮説で説明できるそうだ。人は自分を守るために感染の

リスクを感知すると嫌悪感を生じその対象から回避しようとする行動としての免疫がある。

・行動免疫によりリスクから距離をとり、実際に感染したら体の免疫システムで自分を守る。COVID-19の対応に日夜追われている支援者は困難な状況下で自らの感染の不安を抱えながら業務に当たっている。これら支援者の仕事へのモチベーションは「労働事」であり、これがあつて支援は継続できるものである。

セルフケア、ラインケアが効果的になされる為には、管理職・上司の支援者支援への理解が最も重要との事だ。特に職員員のメンタルヘルスケア(職員員のストレスチェック・カウンセリング・面談等)、組織(事業所)間の心理的温度差の調整、給与等の金銭面の評価、が重要と思つた。災害時に備える為にもメンタルヘルスケアは現時点から取り組んでおくものだと思つた。

## 個別支援計画から

主任 貝塚 卓弥

グループホームでは、十代から七十代の35名の利用者がホームに分かれて生活しています。幅広い年齢層で、一人ひとり希望する生活も様々です。個別支援計画を作成するにあたり、利用者の目標(どういう生活がしたいか)を必ず聞きます。近年の個別支援計画を振り返ってみると、「携帯電話を買いたい」という希望がとて多く、いつでも電話やメールができる、インターネットが見られるなどの理由でした。

利用者同士でも携帯電話をめぐるトラブルが起きています。そういったトラブルを防ぐ為に、他部署とも連携をしながら支援をしています。最近では、前号の鹿島育成園だより(令和3年1月号)の報告にある通り、まっぽくりが開催した在职者交流会に参加しました。携帯電話の危険性について、外部から招

いた講師の方から、個人情報の流出や人権問題など実例を基にした講義を聴くことができました。利用者に分かりやすいように資料も作成して頂き、利用者から「勝手に画像をダウンロードして使っていたけどダメなんです」と、「撮った写真の管理も重要なんだと知りました」と嬉しい報告がありました。今回は、コロナ禍のため少人数で開催されましたが、他の利用者にも伝えられる場を作りたいと考えています。

現在(この原稿は2月10日に作成)、茨城県独自の緊急事態宣言も出されており、不要不急の外出を控えるように利用者にも伝達しています。自ずと携帯電話の使用も多くなると思いますが、注意が必要です。携帯電話を買う事がゴールではなく、そこが新たなスタートだという事を意識してもらえようかなと考えています。



# 未来に向けて

## おめでとう

児童寮 佐藤 遥愛

私は、社会人としていろいろなことを学んでいきたいと思えます。たいちようかんりに気をつけて、休まないで毎日仕事にかよいたいと思います。私の希望は、やく2年間アイリスでいっしょうけんめいくんれんをして、一般企業に就職したいとおもっています。私は児童寮に約3年いました。私の目標は、物を丁寧に扱うように努力していく。毎日えがおでいっしょうけんめいに取り組む。報・連・相を守る。何事にもあきらめないで全力で仕事をする。色んな人とコミュニケーションを取る。以上のことを目標にしてがんばっていききたいです。仕事のやり方をおぼえて、人にやさしくできるようにがんばりたいと思います。



統括主任 荒井 俊光

令和2年度第1回運営連絡会議を1月29日に実施しました。当運営連絡会議は各関係機関にお集まり頂き、茨城労働局の担当者様から障害者雇用の実情についての講話、その後当センターの実績及び今年度の支援内容についての説明を行いました。また、各センターとのケースカンファレンス等も行っています。今年度はコロナウイルス感染拡大等もありオンラインで圏域の就労移行支援事業所と情報の共有及び現状を確認しました。その中でやはり中心議題は感染拡大に伴う、利用者に対しての支援内容及び教材の確保等についてでした。センターとしては来年度報酬改正による就労系福祉サービス事業所の改正内容について説明を行いました。来年度も状況に応じて、オンラインによる連絡会議を実施していきたいと考えています。



今年の新年会は、利用者さんと職員で行いました。



新年会！新成人の皆さん！！

## 節分会



恒例鬼ライスに小鬼（デザート）も



アイリスでは昨年、家族会様よりポップコーンマシンをご寄贈いただきました。

今年度は、新型コロナウイルスの影響により、制限の中での行事ばかりでしたが、クリスマス会はこのマシンの登場で、ポップコーンの香りに一気に華やぎ、盛り上がりました。今後も様々な機会に登場させたいと思います。

家族会様のご厚意に感謝いたします。ありがとうございます。





障害者就業・生活支援センター

支援員 中妻 香織

私は、イルミネーションや星などを観るのが好きです。コロナ前は友達と都内のプラネタリウム

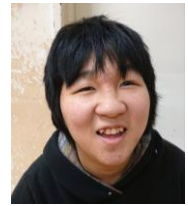


ーシヨンの展示をしています。観に行きました。

都内であれば高速バスで行きますが、以前、埼玉の展示を観るバスが渋滞にはまり、このままでは着く前に閉園時間になる！という事態になりました。ツアー参加者みんなでバスを降り、約1キロ歩いた事もありましたが、それはそれで楽しかったです。

また、去年は長野県で行われている星空ツアーに行きたいと思っていました。断念。コロナが収束したらまずは星空ツアーを実現させたいです。

育成寮入所



大和田 汐莉さん お風呂に入るのが大好きです！

厨房から



栄養士 新橋 洋美

毎日寒い日が続いています。この時期は、ウイルスから体を守る為にも免疫力を高めなければなりません。免疫力を高める栄養素としては、ビタミンA、たんぱく質、乳酸菌などがあります。緑黄色野菜、肉魚、大豆製品、チーズ、ヨーグルトなどで、給食では、毎日それらをバランスよく取り入れています。衛生面にも気を付けて、調理しています。

リモート面会、やっています

初めはドキドキでしたが、最近は大いぶ慣れてきました！



\*紙面に記載されている個人情報、ご本人または保護者様の了承を得て掲載しています。



NPO 法人恵松会様より、コロナ対応が続く中職員への応援をいただきありがとうございました。

短期入所・日中一時支援事業利用状況 (R2年4月～R3年2月)

日中一時支援				短期入所			
		児童寮	育成寮			児童寮	育成寮
人数 (名)	男	18	30	人数 (名)	男	14	18
	女	10	21		女	8	3
	計	28	51		計	22	21
延日数 (日)	男	46	260	延日数 (日)	男	174	330
	女	82	98		女	128	15
	計	128	358		計	302	345

年間を通して手洗い、消毒、マスク着用などの感染症対策を徹底しております。今シーズンのインフルエンザの感染者はいませんでした。

健康だより

寄付・寄贈・招待 鹿島建設株

KVネットワーク様 (東京都) カープスワラシティ様(千葉県) 金山 名様 (東京都)

行事予定

- 3月 3日 児 ひなまつり
- 8日 児 鹿島特別支援学校 高等部卒業式
- 11日 児 潮来第二中学校 卒業式
- 13日 育 リモート面会日
- 14日 児 リモート面会日
- 17日 児 鹿島特別支援学校 小・中学部卒業式
- 18日 法人 理事会
- 23日 児 こじか幼稚園 卒園式
- 23日 児 大生原小学校
- 4月 1日 法人 辞令交付式
- 7日 児 鹿島特別支援学校 小・中学部・高等部入学式
- 5月 5日 育 寮内行事

編集後記

この一年は新型コロナウイルスによる影響で、外出がなかなかできず利用者さんにとっては辛い年になった事と思います。来年度はどんな年になるのかな。笑顔あふれる年になりますように。(矢野)